

大学の世界展開力強化事業（平成24年度採択）中間評価結果

大 学 名	東京医科歯科大学
整理番号	I - 3
構 想 名	東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">S</p> <p style="text-align: center;">優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。</p>
(コメント)	
<p>本プログラムは、東京医科歯科大学の従前からの国際交流を受け継いでおり、タイ・インドネシア・ベトナムの3大学とコンソーシアムを形成することで、医療と歯科医療における東南アジアネットワークを構築し、異文化理解とその多様性を受容して各国の保健状況にあった対策を実践する優れた人材を育成することを目的としている。</p> <p>東南アジアの相手大学との長い交流実績に基づき、我が国の医歯学領域の世界展開を強化するという考えを具体化したもので、派遣・受入のプログラムはいずれも双方向の単位互換を伴った協働教育を可能とし、その中に教員の交流を組み込むなど、プログラムを効果的に実施していることは高く評価できる。</p> <p>数値目標を上回る学生受入や「5ヶ国語による基本歯科用語集」の作成をはじめ、東南アジア関係国との協調・交流体制の構築を通して「親身の指導体制」を目指した種々の活動が実施されており、誠実な取組は高く評価できる。</p> <p>また、外国語カスタンダードの基準として TOEFL 等以外に医歯学領域に係る独自の英語試験の実施や、長い交流実績に基づく元留学生のネットワークを活用した、現地で派遣学生を支援する体制の構築など、きめ細かな配慮がなされている。</p> <p>外部評価委員の構成の明確化を通じて独立性を担保するなどの工夫がなされ、更に派遣及び受入前後に学生に対してアンケート調査を実施し、その結果を取組改善やプログラム立案にフィードバックしている点は高く評価でき、本プログラムの事業目的の達成に向けて、実現可能性を高めている。</p>	